番号	23

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学　部	小学部	学　年	5年
教科等名	国語・算数（朝の学習）	グループ名	1組
ねらい	・言葉や文字、数量や図形などに関わる基礎的な知識や技能を身に付ける。 ・物の形や数に気付き、見比べたり違いを表したりすることができる。 ・言葉や数の学習に意欲的に取り組む態度を身に付け、生活の中で生かそうとする。		
担当教員	○滝沢　真心　　風間　康宏		
予定授業時数	107.8/255.8		
使用教科書	東京書籍　こくご☆☆☆　　教育出版　さんすう☆☆☆		

月	単元（題材）名	★	主な学習内容	ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4 5 6 7	・よく見て手指を使おう ・いろいろな言葉を知ろう ・文字を知ろう ・数を知ろう	○	・手指で操作する課題に取り組む。（ファスナー、輪ゴム、紐結び、畳む、しぼるなど） ・点結び、なぞり書き、視写、平仮名、片仮名の書字など個々に応じた運筆の課題を行う。 ・絵カードと文字（平仮名、片仮名）のマッチング課題を行う。 ・個数を数える、数の合成分解を行うなど、個々に応じた数の学習を行う。	・25分間着席をし、個々の課題に向かうことができる。 ・「朝の学習」のやり方（ワークシステム）を知る、覚える。 ・終わった課題は、教員に確認してからフィニッシュボックスに入れる。 ・準備、片付けを一人で行うことができる。	・落ち着いて課題に取り組める環境を設定する。 ・自信をもって取り組める既習事項を中心に課題を用意する。 ・最後に励みとなる課題を用意する。
9 10 11 12	・よく見て手指を使おう ・手指を使って考えて動かそう ・いろいろな言葉を使おう ・文字を使おう ・数を使おう	○	・なぞり書き、視写、平仮名・片仮名、漢字の書字など、個々に応じた運筆の課題を行う。 ・平仮名・片仮名を読む。（清音、濁音、半濁音、拗音、促音） ・絵カードと文字（平仮名、片仮名、漢字）のマッチング課題を行う。 ・名詞、動詞、形容詞、助詞にふれる。 ・5W1Hで、話す、文を読み取る。 ・個数を数える、数の合成分解を行うなど、個々に応じた数の学習を行う。（マトリクス、足し算、引き算、筆算） ・アナログ時計で時刻を読む、時刻を時計のイラストとマッチングするなどの時計の課題を行う。 ・個々に応じた手や指先を使った課題（固結び、蝶結び、箸の使用など）を行う。	・25分間着席をし、個々の課題に向かうことができる。 ・鉛筆やペンを使用し、姿勢を正し、文字を書くことができる。 ・平仮名、片仮名、漢字の読み、書きができる。 ・曜日の漢字に親しむ。 ・身近な単語を中心に、語彙を増やす。 ・数を数えたり、5や10の塊を意識して計算ができる。 ・足し算、引き算の計算ができる。 ・カレンダーを見て数字を読んだり、時計の文字盤を見て数字を読んだりすることができる。 ・時刻を読むことができる。 ・ひもを使って、固結びや蝶結びをすることができる。 ・箸を使って、固形物をつまむことができる。 ・「できました。」「てつだってください。」など、教員に報告や依頼ができる。 ・紙にパンチで穴を開けたり、プリントをファイルにとじることができる。	・椅子の座り方や、足底が床についているかなど、成長に伴い、机や椅子の高さの調整を行う。確認を随時行う。 ・具体物の操作など、手で持って感覚が得られる教材を使用する。 ・興味がもてるように、日常的に使用する絵やサインなどを使用する。 ・身近なもの、児童が興味のあるもの、好きなキャラクターなどを使用する。 ・課題が分かりやすく、達成感が味わえるものを用意する。 ・段階に応じて、具体物、半具体物、カード、プリント学習に移行していく。 ・報告や依頼を徹底できるようにし、教員と一緒に取り組むチャレンジ課題を入れる。
1 2 3	・手指を使って正しく動かそう ・いろいろな言葉でやり取りをしよう ・よく考えて文字を使おう ・よく考えて数を使おう				
6	・好きな本を紹介しよう		・好きな本を選ぶ。 ・コメントカードの作成。	・図書室で好きな本を選ぶ。 ・選んだ本の好きな場面をカードに書く	
通年	・図書に親しみをもとう		・図書室での読書活動。	・図書室で好きな本を選び借りる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

番号	24

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学　部	小学部	学　年	5年
教科等名	国語・算数（朝の学習）	グループ名	2組
ねらい	・言葉や文字、数量や図形などに関わる基礎的な知識や技能を身に付ける。 ・物の形や数に気付き、見比べたり違いを表したりすることができる。 ・言葉や数の学習に意欲的に取り組む態度を身に付け、生活の中で生かそうとする。		
担当教員	○上田　千鶴　　堀口　明		
予定授業時数	107.8/255.8		
使用教科書	東京書籍　こくご☆☆☆　　教育出版　さんすう☆☆☆		

月	単元（題材）名	★	主な学習内容	ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	・よく見て手指を使おう ・いろいろな言葉を知ろう ・文字を知ろう ・数を知ろう	○	・手指で操作する課題に取り組む。（ファスナー、輪ゴム、紐結び、畳む、しぼるなど） ・点結び、なぞり書き、視写、平仮名、片仮名の書字など個々に応じた運筆の課題を行う。 ・絵カードと文字（平仮名、片仮名）のマッチング課題を行う。 ・個数を数える、数の合成分解を行うなど、個々に応じた数の学習を行う。	・25分間着席をし、個々の課題に向かうことができる。 ・「朝の学習」のやり方（ワークシステム）を知る、覚える。 ・終わった課題は、教員に確認してからフィニッシュボックスに入れる。 ・準備、片付けを一人で行うことができる。	・落ち着いて課題に取り組める環境を設定する。 ・自信をもって取り組める既習事項を中心に課題を用意する。 ・最後に励みとなる課題を用意する。
5 6 7 9 10 11 12	・よく見て手指を使おう ・手指を使って考えて動かそう ・いろいろな言葉を使おう ・文字を使おう ・数を使おう	○	・なぞり書き、視写、平仮名・片仮名、漢字の書字など、個々に応じた運筆の課題を行う。 ・平仮名・片仮名を読む。（清音、濁音、半濁音、拗音、促音） ・絵カードと文字（平仮名、片仮名、漢字）のマッチング課題を行う。 ・名詞、動詞、形容詞、助詞にふれる。 ・5W1Hで、話す、文を読み取る。 ・個数を数える、数の合成分解を行うなど、個々に応じた数の学習を行う。（マトリクス、足し算、引き算、筆算） ・アナログ時計で時刻を読む、時刻を時計のイラストとマッチングするなどの時計の課題を行う。 ・個々に応じた手や指先を使った課題（固結び、蝶結び、箸の使用など）を行う。	・25分間着席をし、個々の課題に向かうことができる。 ・鉛筆やペンを使用し、姿勢を正し、文字を書くことができる。 ・平仮名、片仮名、漢字の読み、書きができる。 ・曜日の漢字に親しむ。 ・身近な単語を中心に、語彙を増やす。 ・数を数えたり、5や10の塊を意識して計算ができる。 ・足し算、引き算の計算ができる。 ・カレンダーを見て数字を読んだり、時計の文字盤を見て数字を読んだりすることができる。 ・時刻を読むことができる。 ・ひもを使って、固結びや蝶結びをすることができる。 ・箸を使って、固形物をつまむことができる。 ・「できました。」「てつだってください。」など、教員に報告や依頼ができる。 ・紙にパンチで穴を開けたり、プリントをファイルにとじることができる。	・椅子の座り方や、足底が床についているかなど、成長に伴い、机や椅子の高さの調整を行う。確認を随時行う。 ・具体物の操作など、手で持って感覚が得られる教材を使用する。 ・興味がもてるように、日常的に使用する絵やサインなどを使用する。 ・身近なもの、児童が興味のあるもの、好きなキャラクターなどを使用する。 ・課題が分かりやすく、達成感が味わえるものを用意する。 ・段階に応じて、具体物、半具体物、カード、プリント学習に移行していく。 ・報告や依頼を徹底できるようにし、教員と一緒に取り組むチャレンジ課題を入れる。 ・楽しい雰囲気でやり取りできるようにする。
1 2 3	・手指を使って正しく動かそう ・いろいろな言葉でやり取りをしよう ・よく考えて文字を使おう ・よく考えて数を使おう	○			
6	・好きな本を紹介しよう		・好きな本を選ぶ。 ・コメントカードの作成。	・図書室で好きな本を選ぶ。 ・選んだ本の好きな場面や理由をカードに書く。	
通年	・図書に親しみをもとう		・図書室での読書活動。	・図書室で好きな本を選び借りる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。